



平成元年2月

〒250 小田原市荻窪300番地

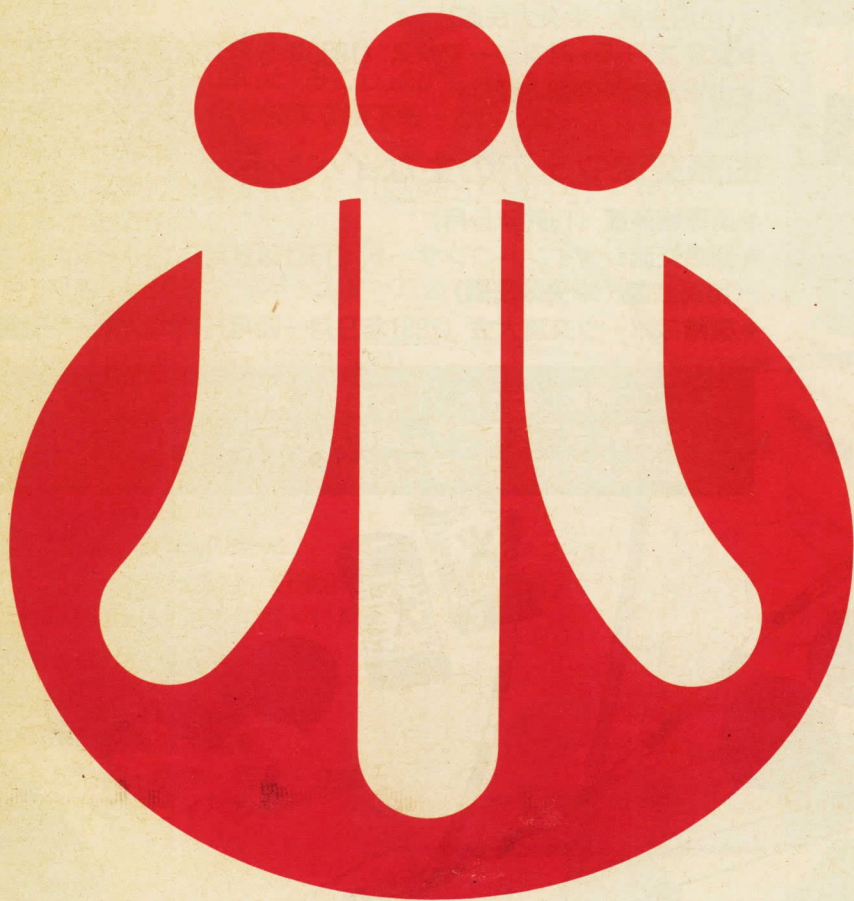
編集発行 小田原市役所企画調整部文化室

ときめき小田原夢まつり

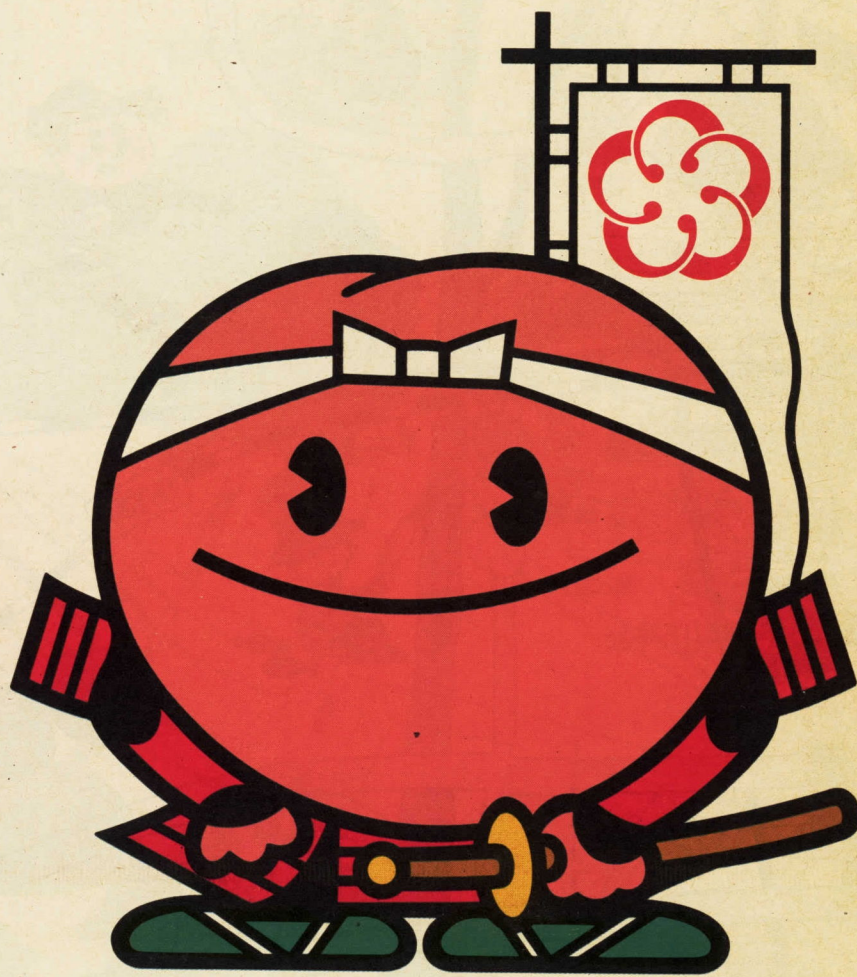
●テーマ：400年の時を超えて小田原は今、そして未来

●期間：1990年4月～1991年11月

シンボルマーク・キャラクター決定！



●シンボルマーク



●キャラクター



まちづくりへの
大きなステップに

小田原市長
ときめき小田原夢まつり実行委員会
設立発起人代表

山橋敬一郎

市では、「おだわら21世紀プラン」に、四大イベントを掲げ、その最初のイベントとして昭和六十二年度（二宮尊徳生誕二百年祭）を市民と行政の協働により開催しました。

そして来年は、昭和十五年の市制施行から五十周年を迎えるとともに、我が国の歴史において中世から近世への節目となった小田原合戦から四百年目に、また、再来年は本市がアメリカ合衆国カリフォルニア州のチュラビスタ市と姉妹都市提携をしてから十年目にあたります。

そこで、これらを記念して二カ年にわたり、「ときめき小田原夢まつり」と総称した『市制施行五十周年記念』『小田原合戦四百年』『国際交流フェア』の三つのイベントを開催します。

イベントは、決して一過性のものではなく、これを契機として、小田原の活性化、ふるさと意識の醸成、いわばまちづくりへの大きなステップにすることがねらいであります。

わがまちを振り返り、見つめ、来たるべき21世紀をみすえて、新たな時代へはばたくまちづくりを進めるための一つの方策としてとらえることができると思います。また、実施にあたっては、その計画段階から市民、団体、企業等が一体となって知恵と力を出し合い、心のふれあうものにならんと考えております。

そこで、今まで市民のみなさんには、各種アンケート調査、「3大イベントを話し合う会」「3大イベント市民懇話会」「わたしの提案」等を通じて、御意見、御提案をいただくとともに、市内部でもイベント調査検討会を設置して、検討を進めてきました。

今後とも、より多くの市民のみなさんの御参加をいただきながら、小田原にふさわしいイベントの実施に向けて、いよいよ本年四月からは「ときめき小田原夢まつり」実行委員会を発足させ、このイベントが有意義に、また盛大に実施できますよう更に検討を重ねていく所存です。つきましては、「ときめき小田原夢まつり」へのみなさんの御理解と積極的な御参加、御支援を心からお願ひ申し上げます。

まつり イベントマップ

まつりとパノラマ劇場



小田原合戦400年の主なイベント

- ときめき小田原まつりオープニング (1990年4月)
- 小田原合戦ハンド・イン・ハンド
- 小田原城郭を囲め市民の輪 風船大会スペシャル (1990年4月)
- 石垣山大茶会 (1990年4月～5月)〈城址公園、一夜城址周辺〉
- 小田原北条サミット・郷土芸能・物産展 (1990年5月)〈市民会館、中央公民館〉
- 寛政スーパーパフォーマンス (1990年5月)〈城址公園〉
- 小田原北条太鼓の創作

国際交流フェアの主なイベント

- 国際物産展 (1991年5月)
- 国際交流ジョイントコンサート (1991年8月～9月)〈市民会館、中央公民館〉
- 国際スポーツ交流大会 (1991年9月～10月)〈市内スポーツ施設〉

※ここに掲載したイベントの名称、実施時期、実施場所、内容はあくまで予定です。最終的な確定は、実行委員会設立後になります。ご了承ください。

野外彫刻展

3年ごとに開催されている野外彫刻展。90年には小田原にやってきて、まつりを盛り上げます。城址公園など緑豊かな野外に20点余りの「歴史」をテーマとした彫刻を設置。人工の美と自然の美を融合させた、芸術空間をつくり出します。

ふるさと小田原「山車」と「みこし」のパレード

古くから、祭のスター的存在だった山車とみこし。そして小田原には、その長い歴史のなかで何十もの山車、みこしが引き継がれてきました。この年の夏祭りには、市内の山車、みこしが大集合。市内を縦横にねり歩きます。また、創作みこしのコンテストも同時開催。わたしたちの血を熱くたぎらせてくれるでしょう。

オープニング、小田原合戦ハンド・イン・ハンド

さあ、勇壮な太鼓の響きとともに、まつりの開幕です。林英哲氏の創作による「北条太鼓」、つづいて開催宣言。またその頃、小田原城外郭を囲む形で、小田原合戦ハンド・イン・ハンドを市民約1万人の手で開催。かつての小田原城の約12kmにも及ぶ外郭を、人の輪で再現します。その模様は空から撮影され、ジャンボロンで放映されます。

野球場オープニング

現在、上府中地区に上府中総合公園を建設中です。90年には、まず野球場が完成。そのオープニングイベントが秋には多彩に開催されます。



ときめき小田原夢

'90-'91街はまる

実行委員会の設立(1989年4月)

プレ・キャンペーン プレ・イベント

- 郵トピア提携事業
- 横浜博覧会出展 (1989年3月25日~10月1日)
- 梅干種飛ばしコンテスト等 (1990年2月~3月初旬)
(曾我梅林、城址公園)
- 北条幻庵没後400年記念風流祭 (1989年9月30日~11月1日)
(北条幻庵屋敷跡、市民会館等)
- 小田原合戦講話 (1989年度中)(中央公民館、市民会館等)
- 古戦場サミット (1989年10月)(中央公民館)
- 海と山の花火大会 (1989年8月)

市制施行50周年記念の主なイベントと事業

- 記念施設の整備
 - 上府中総合公園
 - 辻村植物公園
 - 石垣山一夜城跡
 - 小田原城址
 - 市制50周年記念式典 (1990年12月20日)(市民会館)
 - 表彰
 - 小田原音楽祭
 - 市民総ぐるみ手作りの祭典
 - ふるさと小田原「山車」と「みこし」のパレード (1990年7月下旬)
 - 子供ファンタジー (1990年7月下旬~8月上旬)
 - 小田原「幸」の祭典
 - 小田原「海業」フェスティバル (1990年5月~10月)
(小田原漁港周辺)
 - 全国遊漁船釣大会 (SURF'90)
 - フィッシャーメンズ・フェスティバル (SURF'90)
 - 海の博覧会 (SURF'90)
 - 小田原グルメまつり (1990年8月)
(常設会場)
 - 地場産業フェスティバル
 - 全国伝統工芸フェスティバル (1990年8月)(常設会場)
 - 小田原「芸術」「文化」の祭典
 - 音と光のページェント (1990年8月)(市内各所)
 - 野外彫刻展 (1990年10月~11月)
(城址公園及び周辺)
- ※SURF'90
1990年に相模湾全域を使って県民・団体・行政・企業が連携して行うイベント



AYOSHIMARA



音と光のページェント

この夜、小田原は音と光の街になります。競輪場、小田原城天守閣がレーザー光線などで結ばれ、市内各所で花火やイルミネーションがまたたき、競輪場をメインステージとしたコンサートも開かれます。それはあたたかも、音と光の野外交響楽。小田原の真夏の夜の夢を、あなたも体験してください。



海の博覧会・全国遊漁船釣大会 (SURF'90)

漁業・水産業の楽しさを現代風にアレンジして、相模湾海洋イベント・SURF'90とドッキングさせたイベント。汐風が香る小田原漁港近くの海辺でミニ博覧会。また、沖合いでは全国遊漁船釣大会なども催します。



石垣山大茶会

その昔、一夜城に陣を張った豊臣秀吉は、石垣山山頂で茶会を開きました。箱根の山々や相模湾を眺望しながらすすめるお茶は、どんな味がしたのでしょうか。そこで風流人の心に学び、往時をしのぶ大茶会を催します。訪れた人々に茶を供し、しばし俗社会の喧噪を忘れていただきます。



寛齋スーパーパフォーマンス

世界的なデザイナーであり、「鉄丸」のペンネームで舞台の企画・演出まで手がけるやまもと寛齋氏。ここでは、小田原城天守閣とその周辺を演劇空間として使い、斬新な感覚による「人間讃歌」をうたいあげます。

シンボルマーク

〈優秀作〉

永石繁信さん

(佐賀県佐賀市/44歳
・グラフィックデザイナー)
「楕円形の中に小田原の“小”の字をデザイン化し、新たな21世紀に向かって飛び出すイメージを描いてみました。3本のラインと3つの円は協調し合う市民や家族を表し、また 市政、経済、文化の調和ある発展と躍進をも 意味しています」

〈佳作〉

岡花光延さん・加藤陽一さん

キャラクター

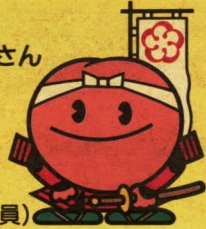
〈優秀作〉

羽山次郎さん

(兵庫県西宮市/57歳・会社員)
「小田原市の花“梅”をテーマに、特産物である梅の実を擬人化しました。武者姿は小田原合戦400年の記念にちなんだものです。小田原らしさ、小田原ならではのものを第一に考え、それを親しみやすい、かわいい絵柄で表現してみました」

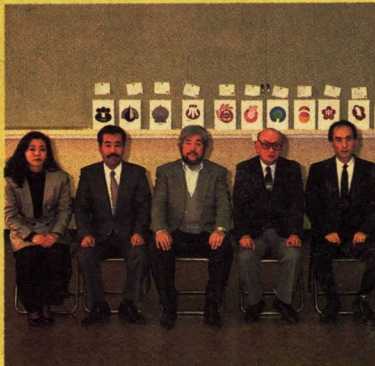
〈佳作〉

小柳陽一郎さん・阿部芳一さん



このマークをどうぞよろしく！

「ときめき小田原まつり」のシンボルマークとキャラクターが決定しました。



シンボルマーク695点、キャラクター296点。「ときめき小田原まつり」のシンボルマーク、キャラクターには小田原市はもとより全国各地、遠くはアメリカ、中国などから予想をはるかに上回る多数の作品が寄せられました。広島県三次市立十日市小学校からは1クラス全員の、県立小田原城北工業高校デザイン科からは78名の生徒の作品などが揃って届き、選考会は喜びと驚きのうちにすすめられました。「小田原らしさ」90年代にかけての新しさなどを主なテーマに、6名の選考委員によって投票と話し合いによる検討が繰り返され、その結果、左記の2点が決定いたしました。「たくさんの応募があったので本当に良いと思う作品が選ばれました」選考委員長の石塚賢三郎氏はこう感想を述べています。みなさん、これから3年間かわいがって下さい。



〈選考委員メンバー〉 敬称略

石塚賢三郎 (小田原商業美術協会会長)
諸星和男 (クリエイティブディレクター)
川辺直行 (小田原青年会議所理事長)
蓑田健二郎 (アートディレクター)
有田日佐子 (イラストレーター)
和田二郎 (小田原市助役)

かわいい名前をつけてください！

このキャラクターの名称(呼び名)を募集いたします。絵柄にちなんだ親しみやすい、呼びやすい名前をお待ちしています。ふるってご応募ください。

- 応募締め切り 1989年3月末日
- 応募方法 官製ハガキに名称を記入のうえ、下記まで
- 宛先及び問い合わせ先 小田原市役所 文化室文化係 〒250 小田原市荻窪300番地 TEL 0465-33-1703・1704



3大イベントを話し合う会

- ☆昭和六十二年
- ・第一回イベント講演会開催
 - ・小田原市のイメージに関する調査
 - ・イベントに関する市民意識調査
 - ・3大イベント調査検討会設置
- ☆昭和六十三年
- ・第二回イベント講演会開催
 - ・第三回イベント講演会開催
 - ・3大イベント事業への参加に関する調査
 - ・(市内団体・企業等対象)
 - ・市内高等学校・短大及び企業等ヒアリング調査
 - ・小田原市3大イベント市民懇話会の設置
 - ・3大イベントを話し合う会の開催
 - ・シンボルマーク/キャラクターの募集
- ☆平成元年
- ・シンボルマーク/キャラクターの発表会とやまもと寛齋氏の講演会
 - ・「ときめき小田原まつり」実行委員会の発足(予定)
 - ・プレ・キャンペーン/プレ・イベントの実施予定

「ときめき小田原まつり」
取組経緯

一九八七年に行なった「二宮尊徳生誕二百年祭」のイベントは、市民の間に深く浸透していなかった部分があったように思います。「商業主義に走っている」といった厳しい批判の声も聞かれたようです。それを踏まえて今回は市が首頭をとり、市民の知恵を結集させようと、各方面に声がかかりました。そこで、わたしたちは市民の代表として「3大イベント市民懇話会」をつくりいろいろな立案をしながら計画をすすめ、今日に至りました。とても数多くのイベントがあり、それらのすべてを円滑に組み合わせ、かつ盛り上げていこうとすることは想像していた以上に難しいことでした。金太郎あめのようどこを切っても同じ顔、というような他の地域と同じことをしてもつまりませんし、市民が楽しむだけでなく広く小田原市を宣伝したい、後世に残るものにもしたい……と、あらゆる希望が次から次へと浮かんできます。「ときめき小田原まつり」がスタートを切ったいまでも、「本当に成功するのだろうか」という一抹の不安があるのも事実です。ですから、そんな不安を少しでも解消するべく今後市民の声を大いに反映させ、よりよい意見を積極的に出し合っていきたいと考えています。このイベントが一過性のものでなく、市の内外にとつて大きな糧となれば……。そう望んでいます。

川久保 和男
小田原市3大イベント市民懇話会座長
小田原市観光協会 企画委員長



3大イベント市民懇話会

後世まで残るイベントに

林英哲氏とともに北条太鼓をたたいてみませんか

「ときめき小田原まつり」オープニングイベントに力強い太鼓の音を。和太鼓奏者の林英哲氏を講師に迎え、太鼓楽曲の創作を考えています。そのため、北条太鼓愛好会に参加してくださる太鼓奏者及び世話役を広く募集しています。小田原在住の方で熱意のある方、太鼓に興味のある方などなたでも結構です。太鼓に関する知識経験そして性別は問いません。多くの方のご参加をお待ちしています。

「林英哲氏のプロフィール」
一九五二年広島県生まれ。佐渡「鬼太鼓座」の創設以来十一年間、メイン奏者として太鼓を叩き続ける。カーネギーホールでのアメリカンシンフォニーとの共演、映画やCMの音楽制作など、伝統とジャンルを越え多方面で活躍中。

- 応募締め切り 一九八九年三月末日
- お問い合わせ先 小田原市役所文化室文化係 〒250 小田原市荻窪300番地 TEL 0465-33-1703・1704

やまもと寛齋氏から小田原市民へのメッセージ



私は、人のクリエイターとしてこれまで「人間讃歌」を謳い続けてきました。「人間の持つエネルギーはまだまだこんなものじゃない」と訴えたいが為に、様々なファッショントレンドの域を完全に超えたイベントを行ってききました。

この度のこの小田原で行うイベントも、私の「人間讃歌」の新しい形になります。このイベントで何が起きるのか？きつと、今まで皆さんが見た事もない世界、つまり世界初のものが、これでもか、これでもかと出てくる様なスパーイベントになります。

小田原が新たな未来に、そして世界に向けての情報発信をする確信しています。

私の持つエネルギーの全てをぶつけてみよう、今からワクワクする様な熱き胸の高まりを抑えることが出来ません。

どうぞ皆さんも御期待下さい。

やまもと寛齋